2021/12期決算説明資料

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION



2022年3月3日（木）

日本コンセプト株式会社

東証1部
9386

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

目次

Ⅰ 2021/12期決算の概要

Ⅱ 事業環境と今後の見通し

Ⅲ APPENDIX

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

I

2021/12期決算の概要

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2021/12期決算ハイライト

■取扱本数が大幅に増加。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続する中、高騰する海上運賃に対してお客様への適宜適切な対応が奏功。新規取引も増加

■国内支店網を活かしたビジネス推進により、国内輸送等売上が大幅に伸長。ガスタンクコンテナビジネスも堅調に推移

1

2021/12期は、
前期比で売上高38.5%増収、営業利益87.4%増益

過去最高売上および最高益を更新

2

ビジネス拡大でも財務体質は強化

タンクコンテナ保有基数の大幅増加等により有利子負債は増加するも、有利子負債比率は低下傾向を維持

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2021/12期決算実績

（百万円）	2020/12期 実績	2021/12期					
		上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	**通期 実績**	前期比	
売上高	12,277	7,554	4,565	4,880	**17,000**	+4,722	+38.5%
売上総利益	2,906	1,914	1,216	1,217	**4,348**	+1,441	+49.6%
営業利益	1,496	1,173	827	803	**2,803**	+1,307	+87.4%
経常利益	1,450	1,121	828	770	**2,720**	+1,269	+87.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,029	796	585	538	**1,919**	+890	+86.5%
売上総利益率	23.7%	25.4%	26.6%	24.9%	**25.6%**	+1.9ppt	–
営業利益率	12.2%	15.5%	18.1%	16.5%	**16.5%**	+4.3ppt	–
経常利益率	11.8%	14.8%	18.2%	15.8%	**16.0%**	+4.2ppt	–
保有基数（期末）	8,282基	9,451基	9,502基	–	**9,701基**	+1,219基	+14.4%
稼働率（期中平均）	71.1%	76.2%	76.7%	–	**77.0%**	+5.9ppt	–
為替（対US＄）	107.4円	107.8円	109.9円	111.8円	**108.5円**	1.1円安	1.0%安

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

営業利益の増減要因

- 海外の景気回復に伴う輸出量増加や新規顧客開拓等により、通期を通して輸送取扱本数が大幅に増加し売上総利益が伸長
- コンテナ船需給逼迫により高騰する海上運賃や運航スケジュールの変更・遅延に対し、顧客ニーズに応じた適切な価格見直しの推進や保管業務の取扱が増えたことで粗利率も改善

営業利益

14.96億円 (2020/12期) ▶ **28.03**億円 (2021/12期)

+13.07億円

① 売上総利益の増加：+14.41億円
- a. 増減収効果：+11.18億円
- b. 粗利率上昇：+3.23億円

② 販管費増：+1.34億円

✓ 輸送取扱本数が大幅に増加

✓ 高騰する海上運賃に合わせ価格見直しを推進

✓ 加温・保管業務の需要増加

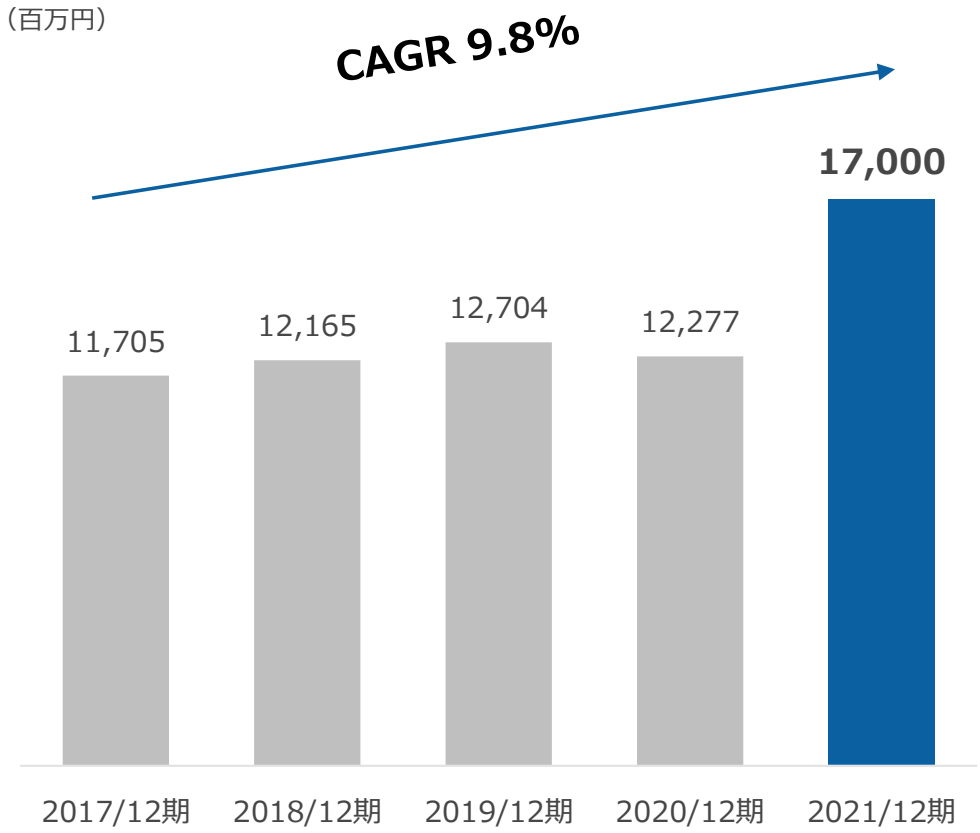
環境、つなぐ未来。 NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

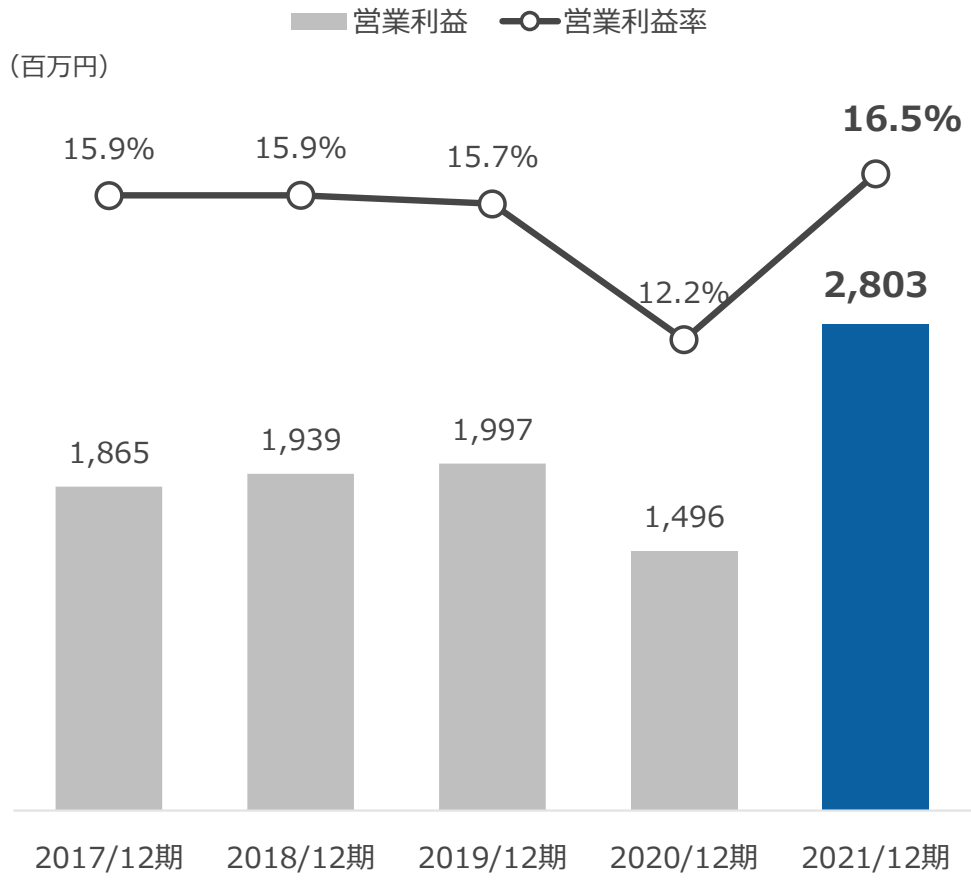
業績推移

- 取扱本数の大幅な増加により売上高は170億円となり、過去最高を更新
- タンクコンテナの増加や海上運賃の高騰等により売上原価は増加するも、販管費の増加を抑制することで営業利益は28億3百万円となり、過去最高を更新。営業利益率は16.5%に改善

売上高の推移



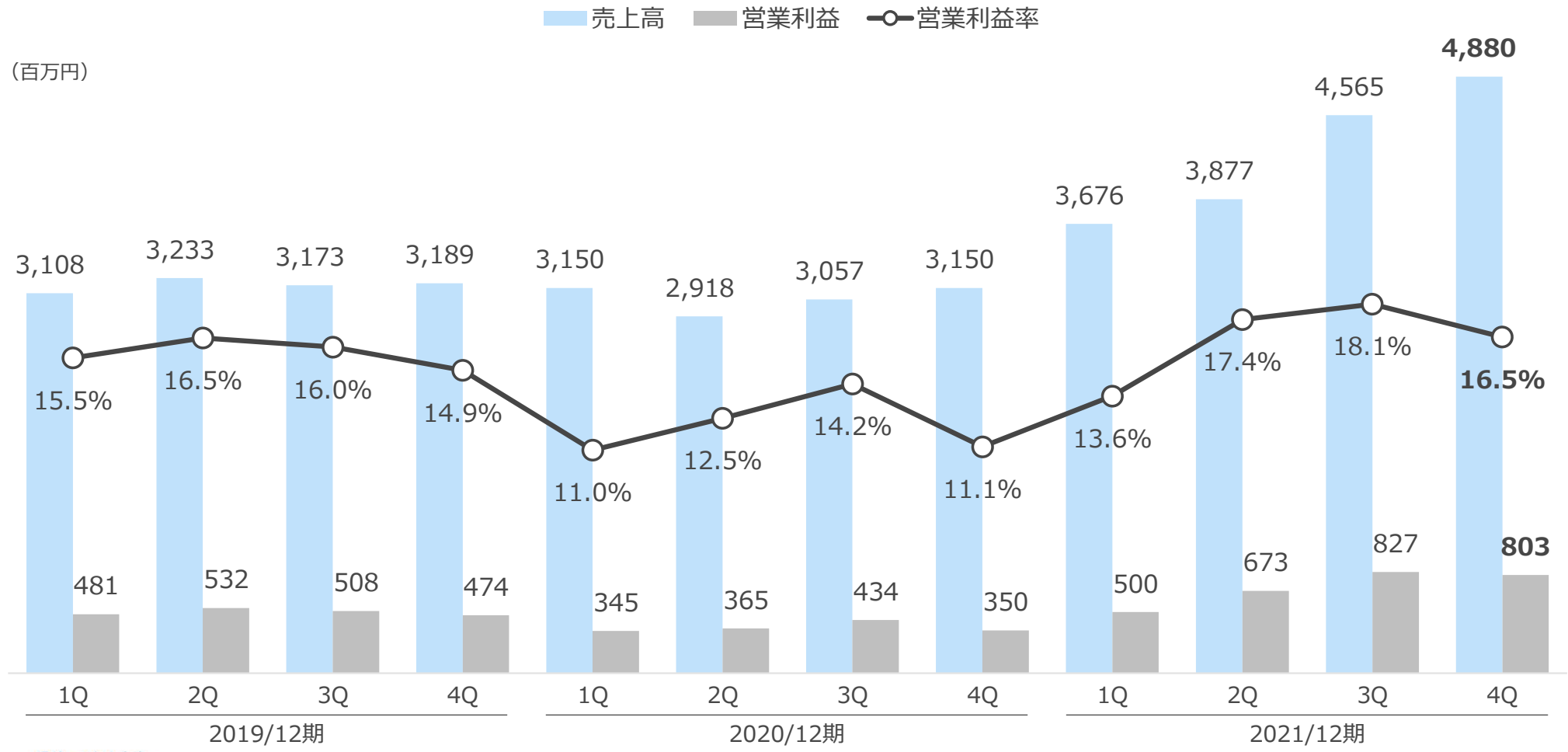
営業利益及び営業利益率の推移



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

（ご参考）四半期業績の推移

- 取扱本数の大幅増加により、第4四半期売上高は四半期で過去最高を更新
- 営業利益率は通期を通して改善



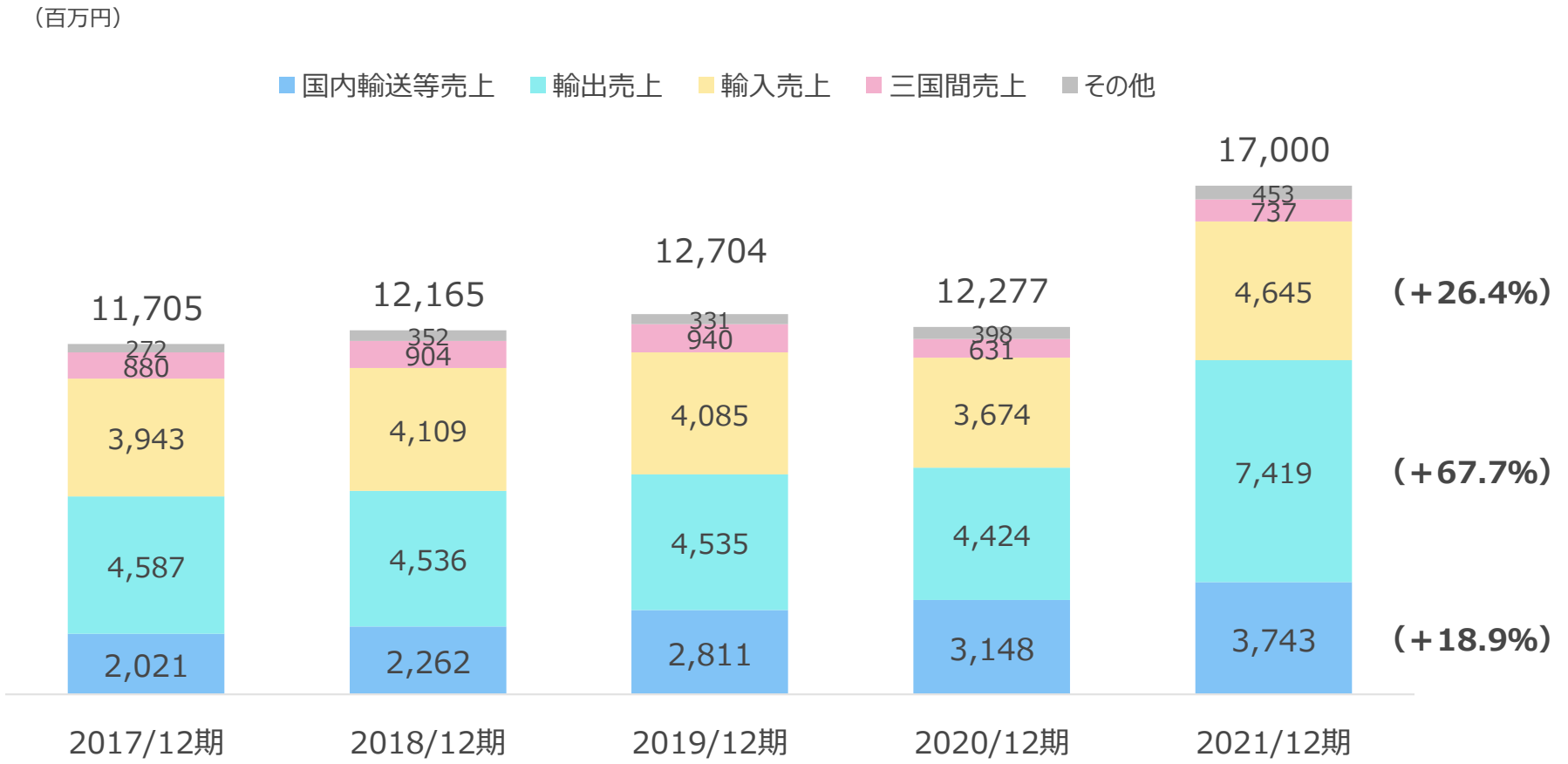
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

輸送形態別の販売実績

- リーマンショック以降、為替の影響を受けない国内輸送等売上に注力。国内支店網を活かしたビジネス推進により、国内輸送等売上は堅調に推移し前期比18.9%増加
- 国内海外含め全社一丸となって営業活動を推進した結果、新規顧客取引が大幅に伸長。輸出売上は前期比67.7%、輸入売上は同26.4%増加し、売上全体を牽引

輸送形態別の販売実績

※輸送形態別売上は、輸送経路による区分であり、輸送に付随して発生する売上も含む



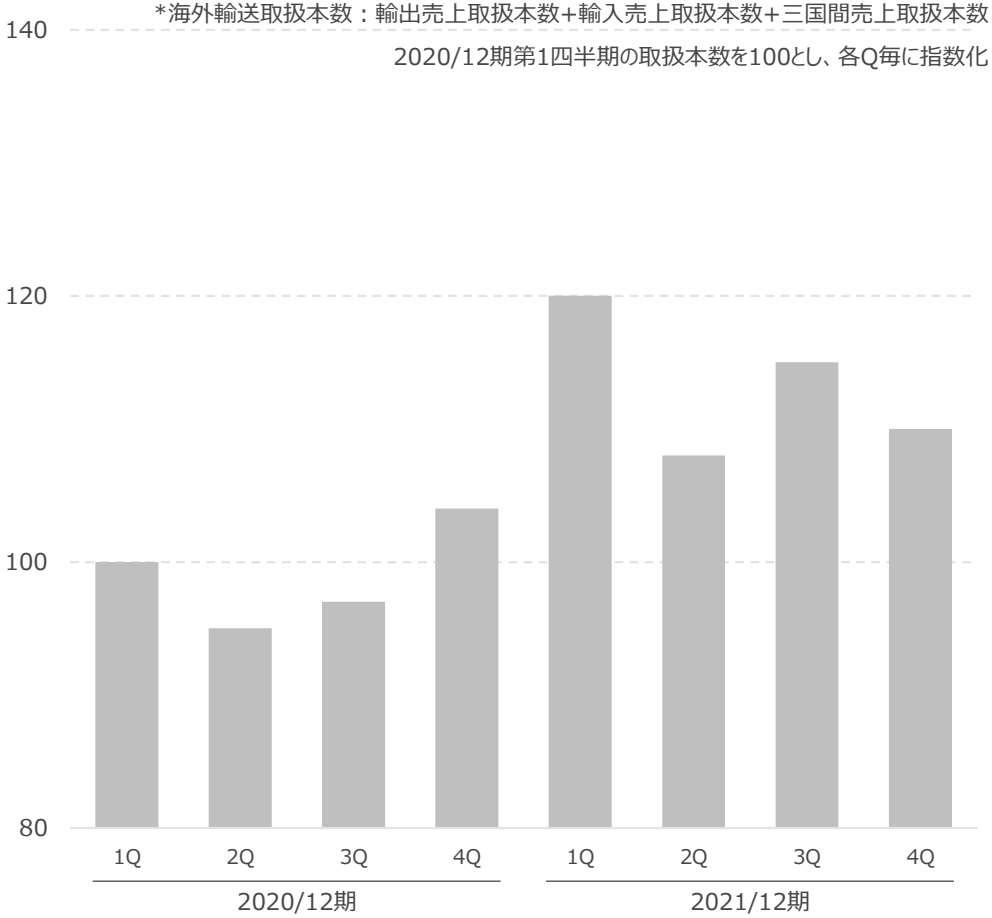
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

取扱本数の推移

- 海外輸送取扱本数は、海外の景気回復に伴う輸出量増加を背景に、全社一丸で行った新規顧客開拓が奏功し高水準で推移
- 国内輸送取扱本数は、旺盛な需要により足元でも増加傾向

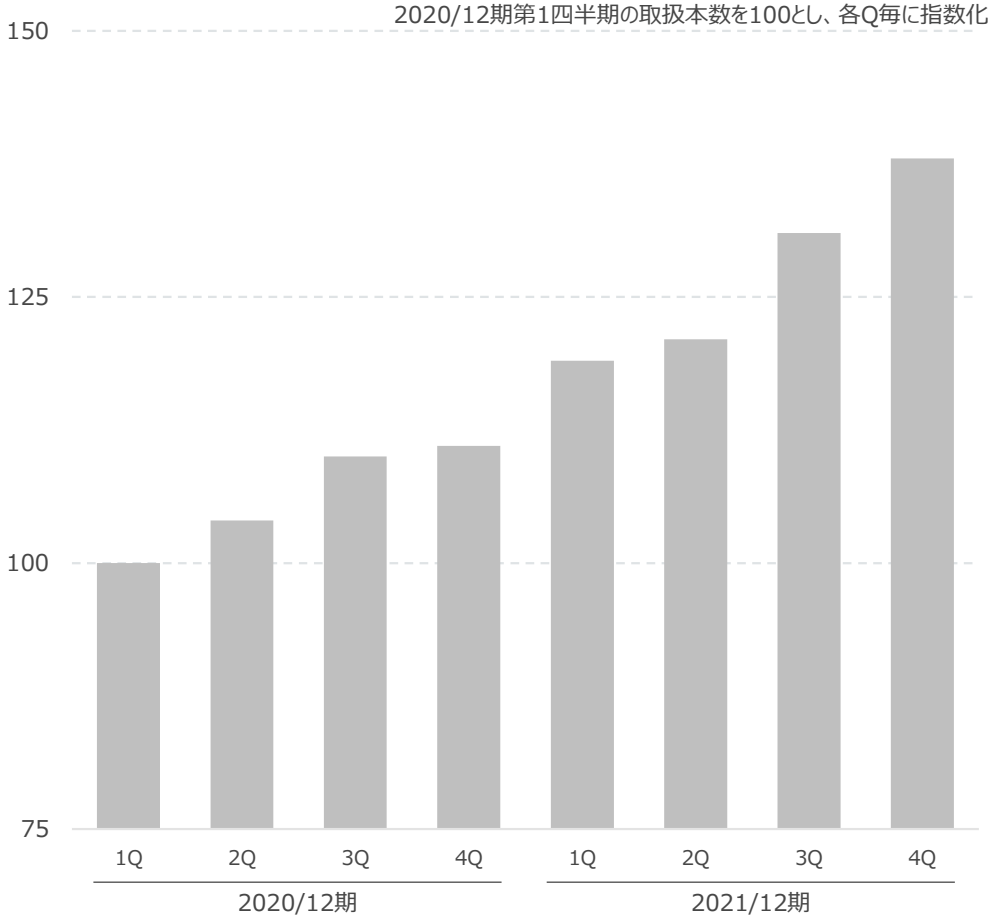
*海外輸送取扱本数の推移

*海外輸送取扱本数：輸出売上取扱本数+輸入売上取扱本数+三国間売上取扱本数
2020/12期第1四半期の取扱本数を100とし、各Q毎に指数化



国内輸送取扱本数の推移

2020/12期第1四半期の取扱本数を100とし、各Q毎に指数化



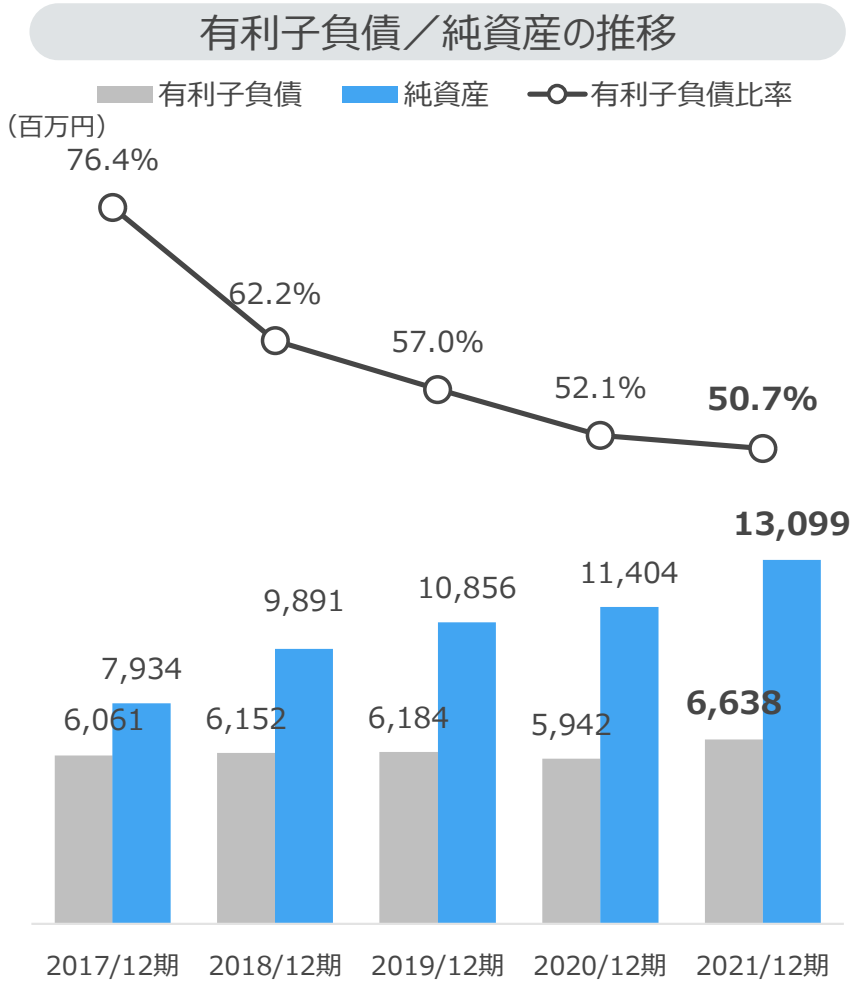
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

バランスシートの状況

■ 現預金は前期末比23.9%増加。タンクコンテナ増加等の設備投資により有利子負債は増加するも、有利子負債比率は50.7%まで低下し財務健全性は向上

(百万円)	2020/12期	**2021/12期**	前期末比	
			増減額	増減率
流動資産	6,808	**9,707**	+2,898	+42.6%
現預金	4,835	**5,990**	+1,155	+23.9%
固定資産	12,200	**12,657**	+457	+3.7%
タンクコンテナ	7,360	**7,942**	+582	+7.9%
総資産	19,008	**22,364**	+3,355	+17.7%
負債	7,603	**9,264**	+1,660	+21.8%
有利子負債	5,942	**6,638**	+695	+11.7%
純資産	11,404	**13,099**	+1,694	+14.9%
負債純資産合計	19,008	**22,364**	+3,355	+17.7%



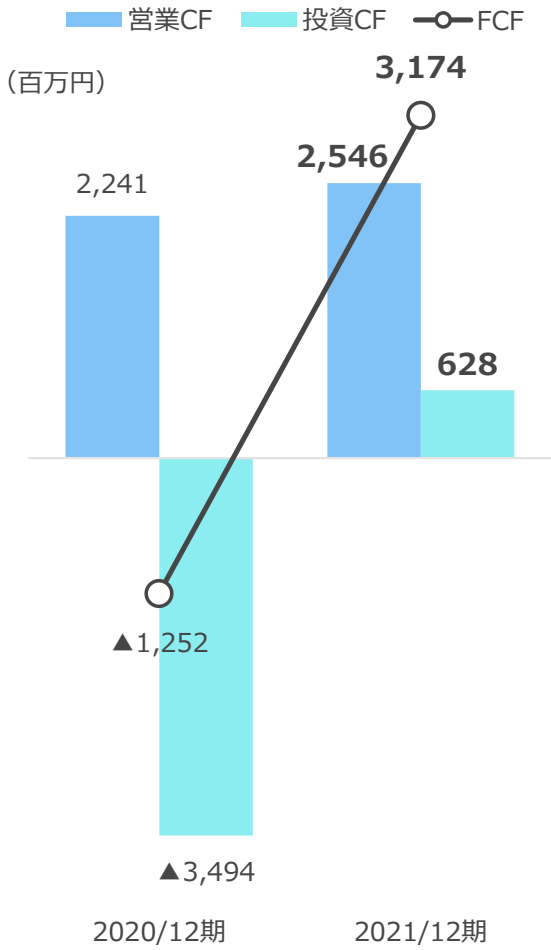
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

キャッシュフローの状況

- 取引拡大及び円安効果により、売掛金が増加したことで売上債権は増加。営業CFは25億46百万円
- 定期預金の払戻し等により、投資CFは41億22百万円増加。FCFは31億74百万円

(百万円)	2020/12期	2021/12期	前期比	
			増減額	増減率
営業CF	2,241	**2,546**	+304	+13.6%
税金等調整前当期純利益	1,451	**2,701**	+1,249	+86.1%
売上債権の増減	▲83	**▲934**	▲851	–
仕入債務の増減	25	**346**	+320	+13.5倍
その他	185	**▲561**	▲746	▲3.0倍
投資CF	▲3,494	**628**	+4,122	–
定期預金の純増減額	▲3,272	**855**	+4,127	–
有形固定資産取得	▲205	**▲191**	+14	–
FCF*	▲1,252	**3,174**	+4,427	–
財務CF	▲1,425	**▲1,253**	+171	–
有利子負債の返済等	▲1,011	**▲839**	+171	–
現金同等物の期末残高	1,430	**3,435**	+2,004	+2.4倍

*FCF＝営業CF+投資CF



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅱ

事業環境と今後の見通し

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2022/12期 業績予想について

事業基盤は安定しているが、
外部環境の劇的な変化により海上運賃が
昨年度より大幅に上昇している地域もあるなど
今後の海上運賃変動の影響を正確に見込むことは困難であるため

2022年12月期の業績予想は未定

**顧客ニーズを踏まえた合理的な業績予想算定が可能となり次第、
速やかに公表予定**

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

プライム市場の上場維持基準適合状況

- 移行基準日（2021年6月30日）時点におけるプライム市場の上場維持基準未達項目も含め、直近では全ての項目に関して適合済であることを確認
- より高いガバナンス体制の構築やSDGs推進による持続的な成長、中長期的な企業価値向上を目指す

	プライム市場 上場維持基準	一次判定 （2021/6/30時点）		**足元の状況 （2021/12/30時点） ※当社試算**	
		一次判定結果	適合状況	**足元の数値**	**適合状況**
流通株式数 （単位）	20,000	58,517	○	**58,517***	○
流通株式時価総額 （百万円）	10,000	9,546	×	**10,342****	○
流通株式比率 （%）	35.0	42.1	○	**42.1***	○
1日平均売買代金 （百万円）	20	17	×	**26*****	○

*2020年12月31日時点の流通株式数5,851,721株を使用

**算出基準日である2020年12月31日時点の流通株式数5,851,721株に、2021年10月1日から12月30日までの3か月間の東京証券取引所の売買立会における日々の最終価格の平均値を乗じて算出

***2021年1月1日から2021年12月31日までの1年間における売買代金を日次平均して算出（小数点以下、省略）

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業価値向上に向けた当社の特徴・強み

■ 下記の4つの強みにより当社の企業価値を向上させ、中長期的に業績拡大へ

1 カーボンニュートラルに適合した液体用タンクコンテナの優位性

2 カーボンニュートラルに適合したガス用タンクコンテナの世界的普及推進

3 SDGsを基本方針とした世界的企業活動の推進

4 商船三井グループとの世界規模でのコラボレーション推進

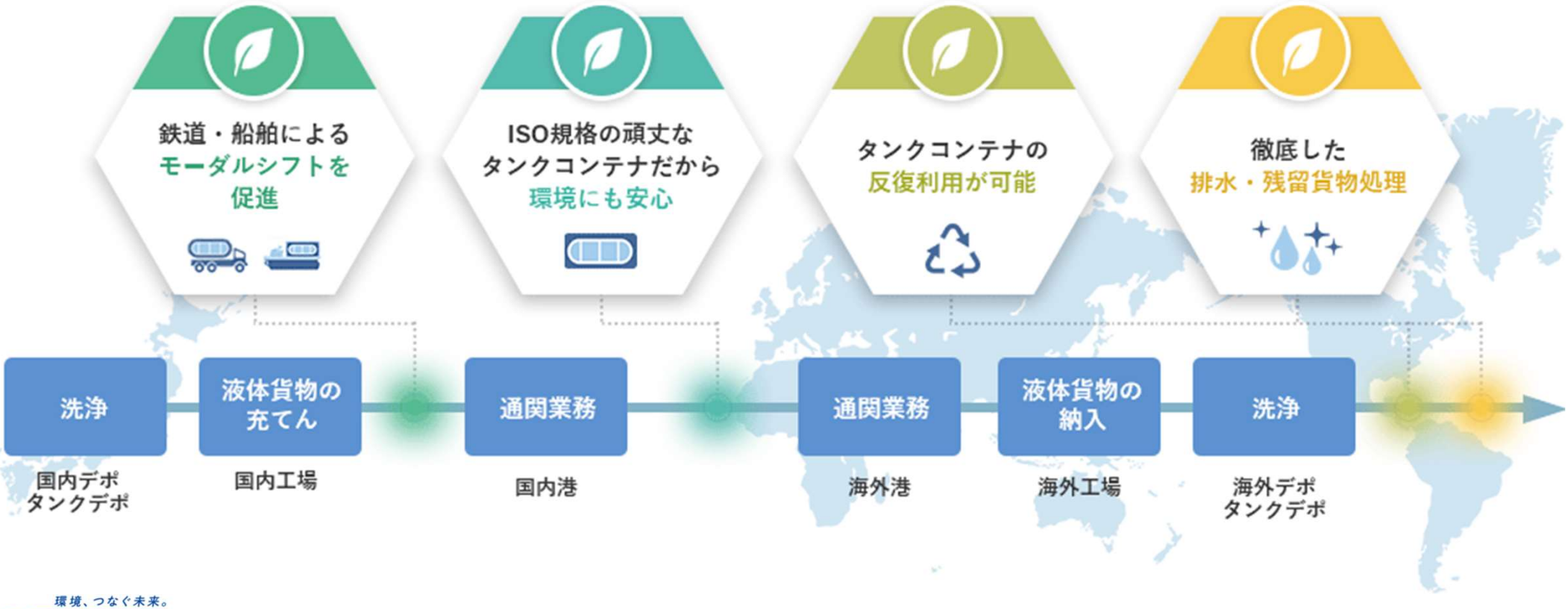
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

液体用タンクコンテナの特性

- タンクコンテナは、*ISO規格に基づく高い強度と耐久性を備え、危険物を一般の貨物と同様に海陸一貫輸送が可能。地球温暖化抑制の観点から世界中に推進されているモーダルシフトにも適合
- タンクコンテナは長期に亘り反復利用が可能。包装材を一切使用しないため、輸送に伴う廃棄物は発生せず
- 貨物の残液や洗浄作業で発生する排水を、信頼性の高い自社の施設で厳格に処理

*ISO：International Organization for Standardization(国際標準化機構)の略



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

様々な貨物の輸送が可能

素材系	自動車の部品に使われる特殊なプラスチックやタイヤのゴム、リチウムイオン電池を作るための材料、合成繊維や合成ゴムなどの原料
電子材系	半導体の洗浄に使われる溶剤、 パソコンやタブレット等ディスプレイの原料など
日用品系	歯磨き粉や化粧品、農薬や肥料、医薬品などの原料
食品系	チョコレートや粉ミルクなどの油脂やワインなど

**危険物から食物として摂取する
食品の原料に至るまで
あらゆる液体貨物を高品質で、
安全に、効率よく輸送**

危険物から食品の原料に至るまで、あらゆる液体貨物を高品質で、安全に、効率よく輸送
機械による洗浄済タンクコンテナの内部に従業員が入り、入念な検査を実施
厳しい内部検査や気密検査を毎回行い、タンクコンテナの安全性を確認の上で輸送






環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

輸送における優位性

- 当社ビジネスモデルの根幹は「One Way輸送」であり、液体貨物納品後のタンクコンテナを現地で洗浄、そして別の目的地へ輸送するため通常の片道運賃で提供することが可能（価格優位性）
- タンクローリーによる陸上輸送から、鉄道や内航船も使用した複合輸送を行うことでトラックの輸送比率を下げモーダルシフトを促進。効率的な輸送を展開しつつ、定時運航による計画的輸送、ドライバー不足対策や交通渋滞の緩和などにも対応

One Way輸送

独自のグローバルネットワークにより、
「One Way輸送」を世界中に提供できる体制を構築



多様な輸送手段

※タンクコンテナはドライコンテナと同サイズであり、鉄道や内航船、トラックといった様々な輸送手段にそのまま載せ替えることが可能

- 鉄道輸送

トラック輸送に比べてCO_2を91%削減。
計画的輸送に優れる



- 内航船輸送

トラック輸送に比べてCO_2を83%削減。
大量輸送に優れる



- トラック輸送

タンクコンテナはタンクローリーの2倍の輸送が可能（20t）



中身の移し替えが不要なため、
Door to Doorの輸送が可能
（異物混入の可能性回避）

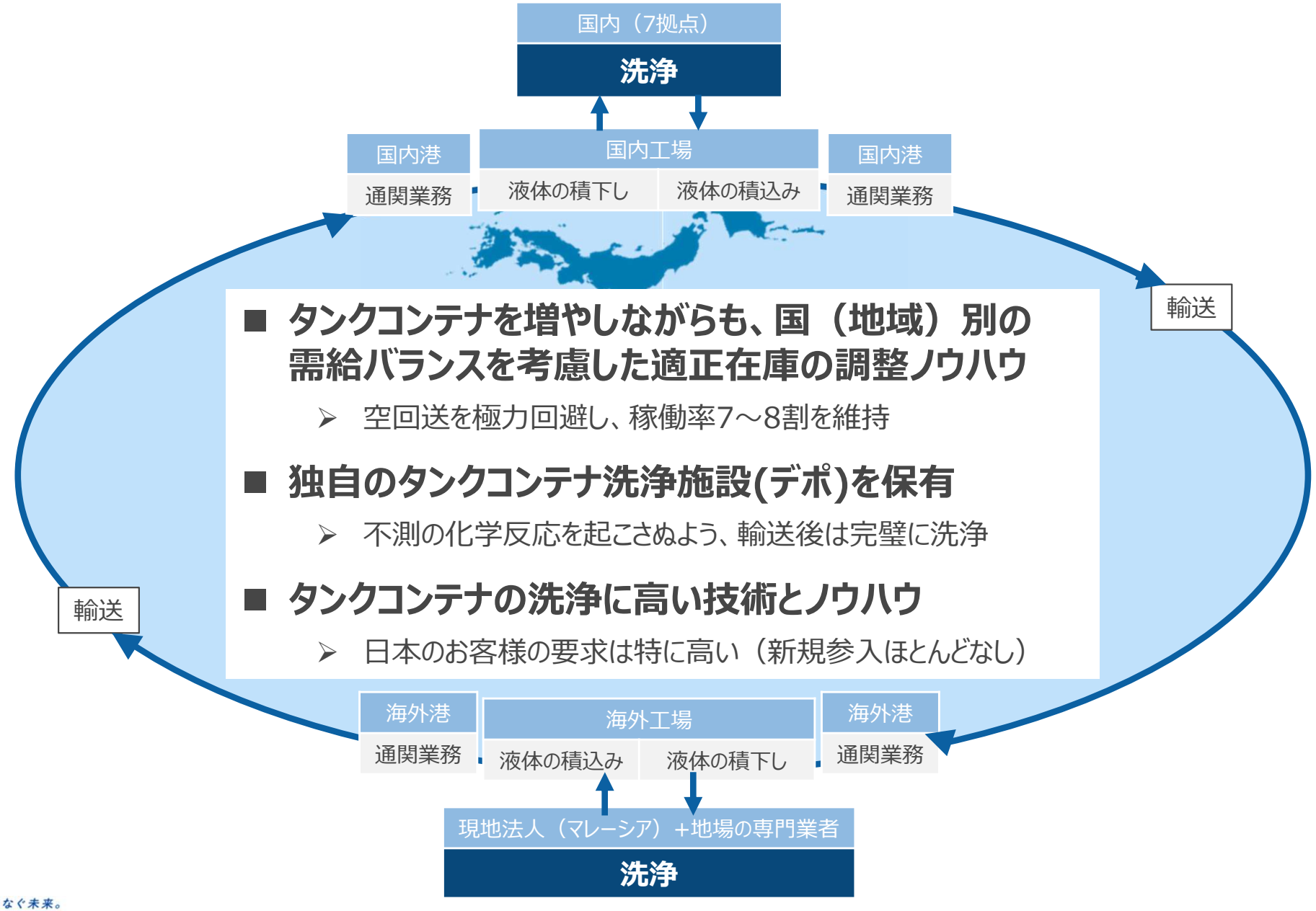


(出所)国土交通省 運輸部門における二酸化炭素排出量

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

液体用タンクコンテナのビジネスモデル



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Door to Doorの「国際複合一貫輸送」サービス

当社ビジネスモデル



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

ガスタンクコンテナ（フロンガス）の一貫処理

■ ガスタンクコンテナのワールドワイドロジスティクスを含め、保管・回収・再生・無害化(分解)・検査に至るまでの一貫処理を日本で初めて可能とし、トータルソリューションサービスを提供



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

需要が拡大するガスタンクコンテナ事業

- 環境保護の観点から厳しい取扱いが求められているフロンガスに関して、当社は適切な処理を徹底
- ISO規格のガスタンクコンテナを*日本基準を充たすように独自開発し、液化炭酸ガスビジネスの営業促進
- 高圧ガスビジネス売上高は堅調に増加し、売上高全体に占める割合は4%程度を維持。今後も益々の拡大を見込む

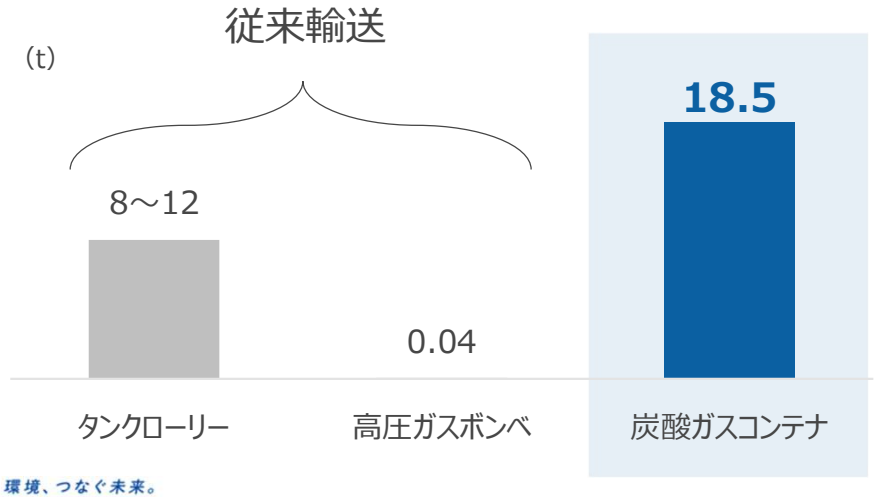
*高圧ガス保安法第44条第1項に基づく検査に合格

輸送形態別（積載）容量比較

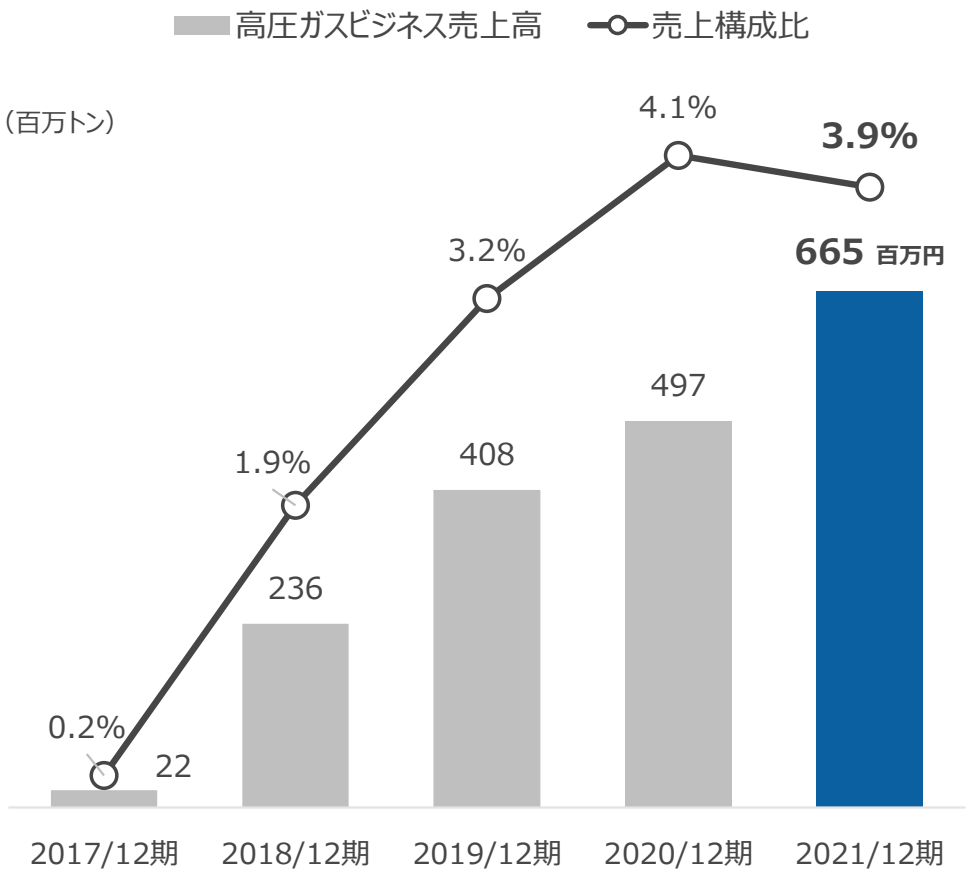
従来の輸送形態に比べて輸送効率が格段に向上

化石燃料消費も削減され、地球環境保全にも配慮





ガスタンクコンテナ事業　売上実績

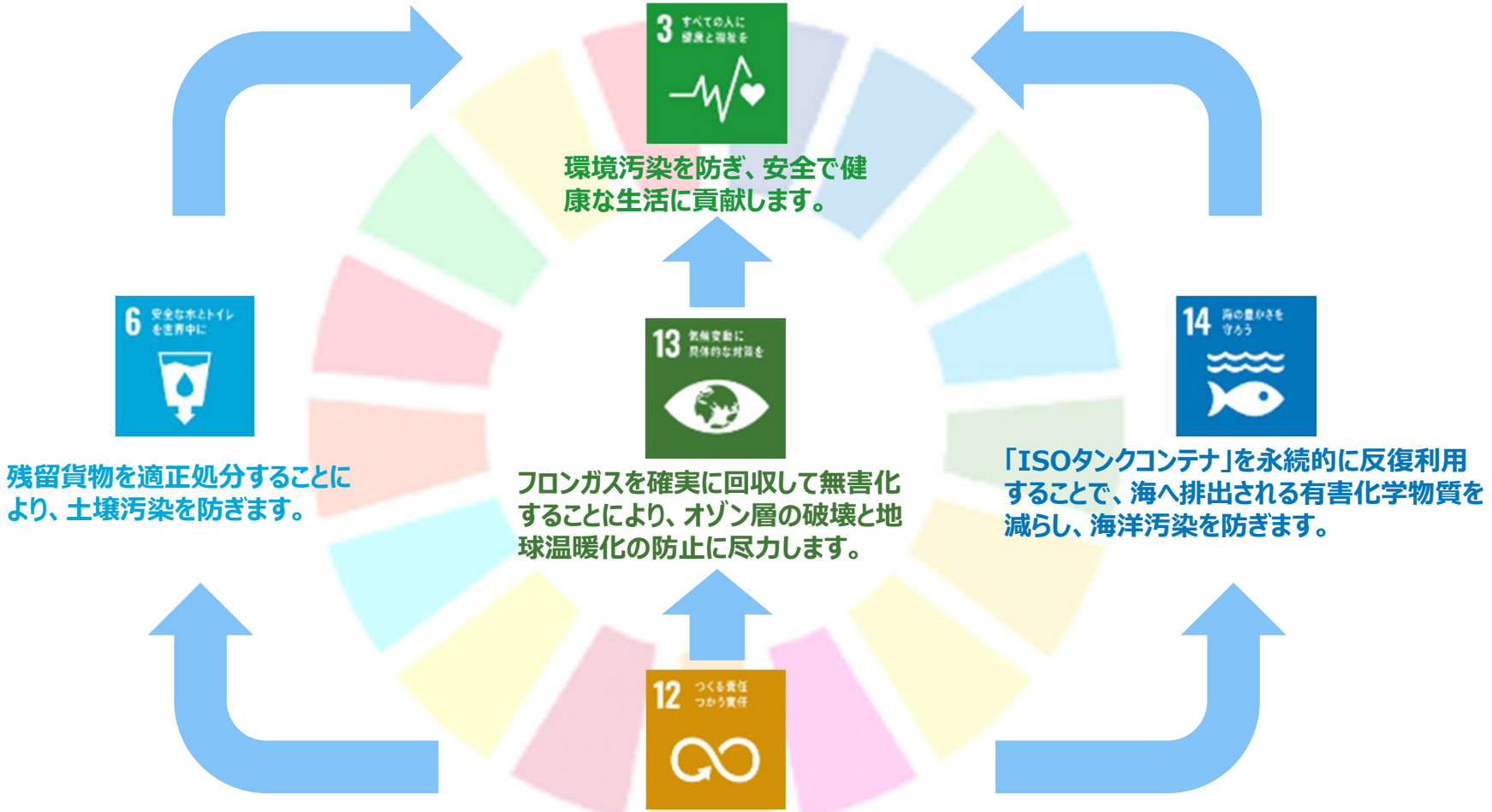


環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

当社ビジネスとSDG s

■ 当社は、地球環境への影響が少なく反復利用できる「ISOタンクコンテナ」を世界中に流通させることを目的に、1994年に創業。タンクコンテナは経済性が高く、地球の環境破壊を防ぎながら、人類が未来永劫にわたり活躍のできる社会維持に貢献



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

環境に優しい排水処理

■ タンクコンテナ排水の水質浄化をデポで行い、水質浄化のためにバクテリアによる有機物の分解等の様々な浄化処理を実施。厳格な処理により、環境破壊を防止

洗浄・排水工程の徹底管理



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

商船三井グループとの世界規模でのコラボレーション推進

環境、つなぐ未来。 NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION ＋ MOL 商船三井 / MOL MOL Logistics

2021年6月に㈱商船三井(MOL)*及び商船三井ロジスティクス㈱(MLG)と3社合同で設立した合弁会社(MLGTC)のグローバルネットワーク活用や同社の既存顧客紹介による営業活動を推進

アジア8カ国・地域及びメキシコの代理店業務委託がほぼ完了しており、2022年2月より米国での業務提携を開始。将来的には欧州をはじめその他全世界に拡大し、相乗効果の極大化を図る

*当社発行済株式の15%を取得しており、2018年に当社と資本業務提携契約を締結

- 当社、MOL、MLGが一体となり、安全で高品質な化学品輸送サービスをグローバルに提供
- 欧米諸国やその他現在拠点のない地域において、業務提携エリアを拡大
- 化学品需要の成長著しいタイ、中国、インド等アジア主要国で順次当社代理店引受拡大
- **2021年6月にMOL及びMLGと3社合同で合弁会社(MLGTC)を設立**
- MLGのメキシコ、ミャンマー、及びベトナム拠点において、当社海外代理店業務委嘱
- MOLと海外拠点及び営業ネットワークの共有やサービスの相互利用
- **2018年にMOLと資本業務提携契約を締結**

環境、つなぐ未来。 NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

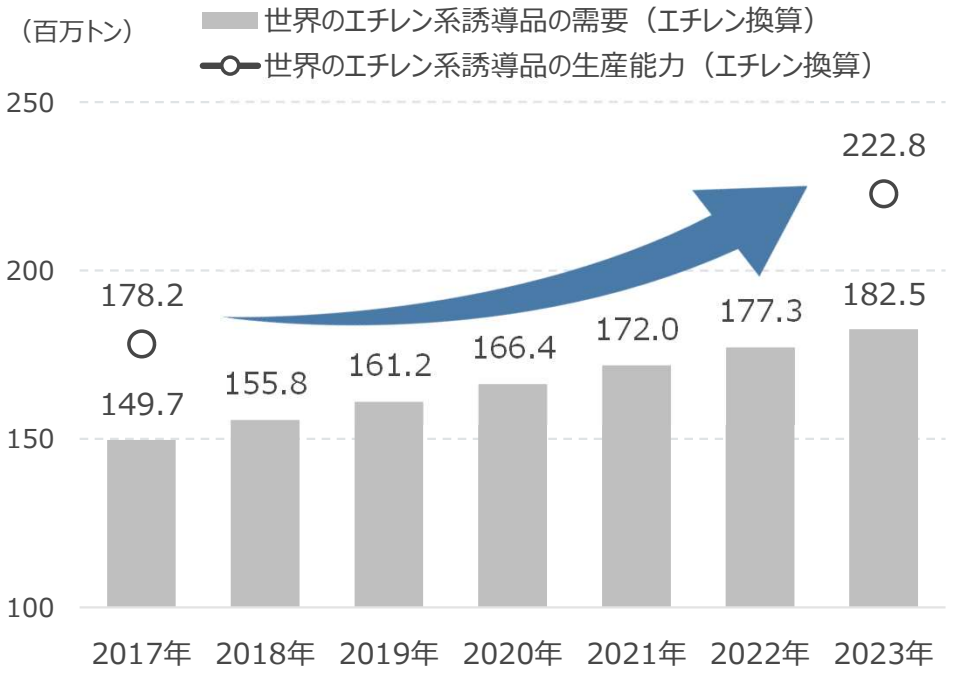
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナが得意とするエチレン系誘導品、プロピレン系誘導品のニーズが世界的に拡大

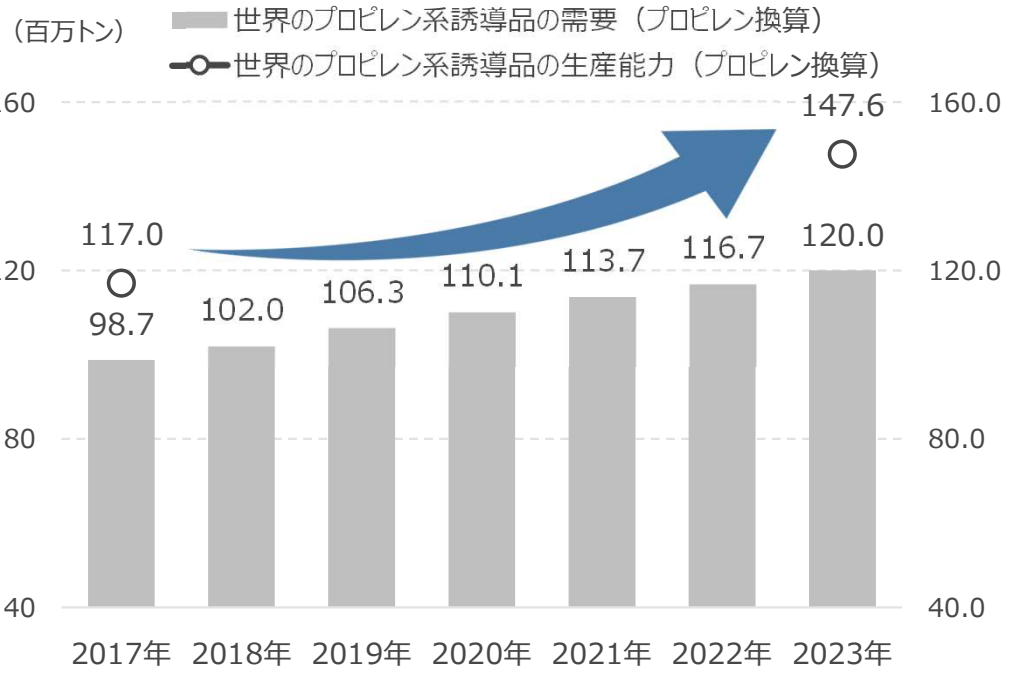
- 経済発展に伴う所得水準向上により、エチレン系／プロピレン系誘導品*のニーズが世界的に拡大
- 両者共に需要の高まりに応じて生産能力も拡大し、2023年には2017年比でそれぞれ25.0%増、26.2%増と大幅に拡大の見込み

*化粧品、ペットボトル、ポリエステル繊維、自動車の内装や調理器具の取っ手の原料、
また不凍液、医薬品、染料、香料、溶剤、塗料、農薬、柔軟剤、酸味料など製品は多岐に亘る

世界のエチレン系誘導品の需要推移及び生産能力



世界のプロピレン系誘導品の需要推移及び生産能力



(出所)経済産業省　世界の石油化学製品の今後の需給動向

**エチレン／プロピレン系誘導品ニーズが拡大することにより、
併せてタンクコンテナ輸送ニーズも拡大するものと思料**

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

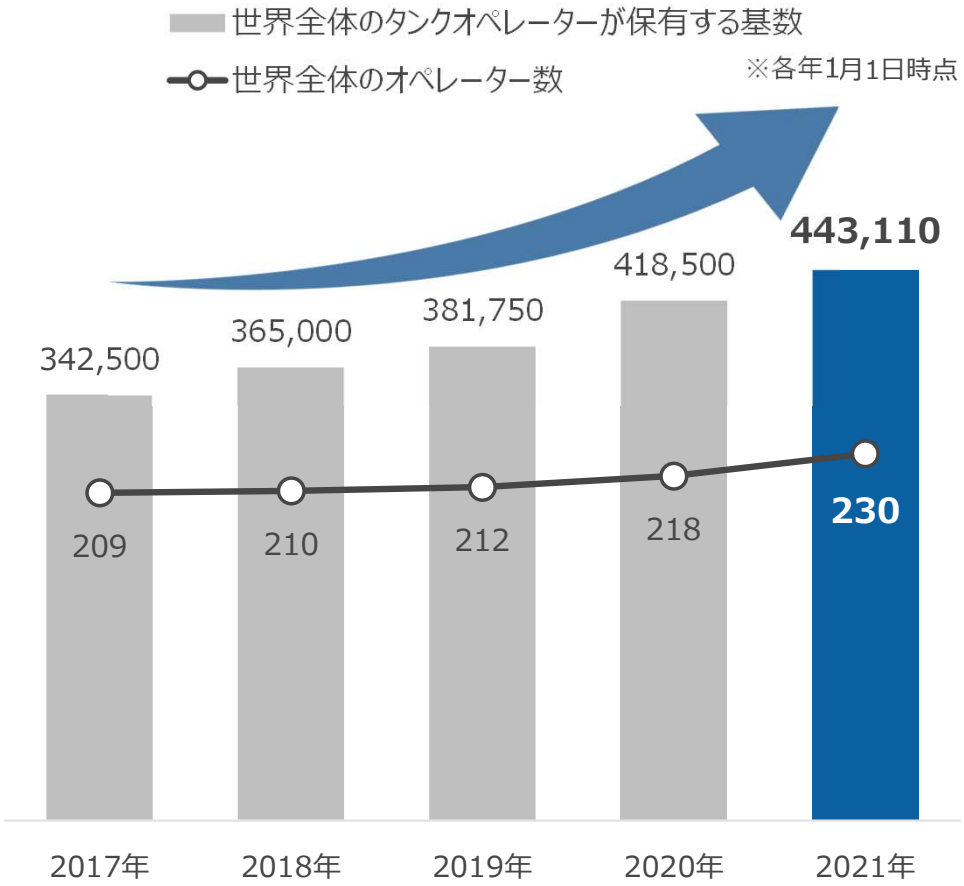
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナ保有基数及び世界シェア推移

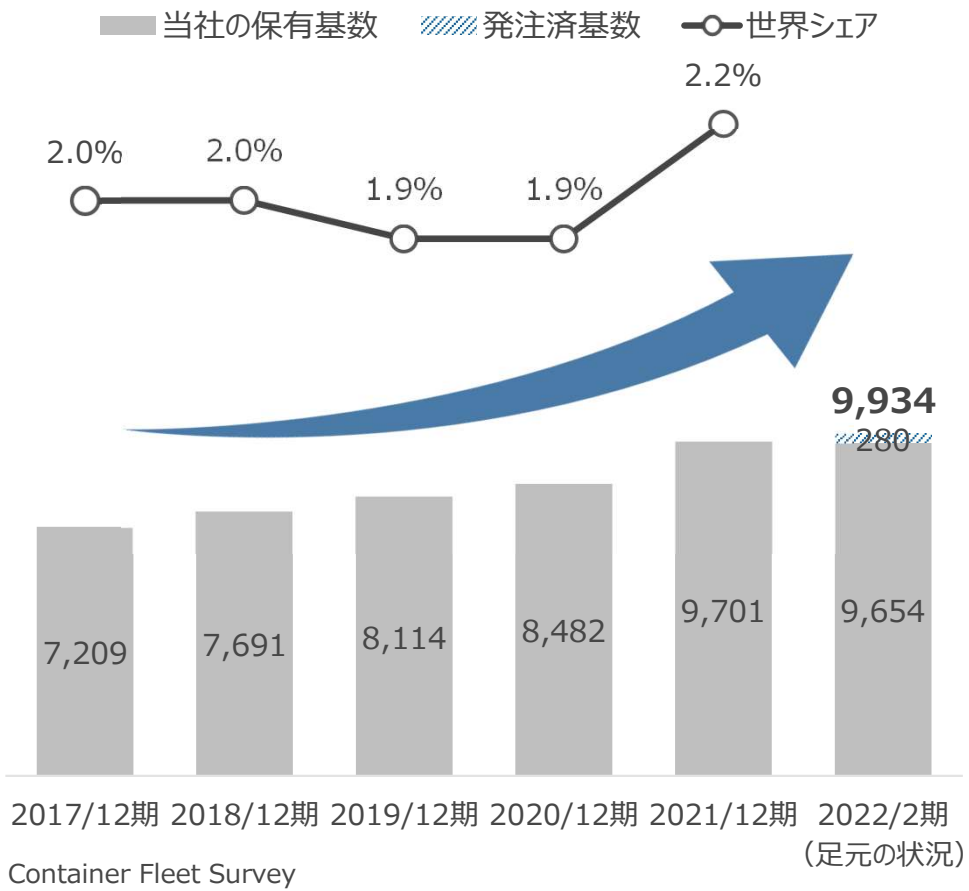
- 世界で利用されているタンクコンテナ基数は、ここ5年間で29.4%と右肩上がりに増加
- 当社の保有機数は34.6%増加し、世界シェア*2.2%へ上昇

*2021年1月1日時点の世界全体のタンクコンテナ基数を基に算出

世界全体のタンクコンテナ基数等



当社のタンクコンテナ保有基数及び世界シェアの推移



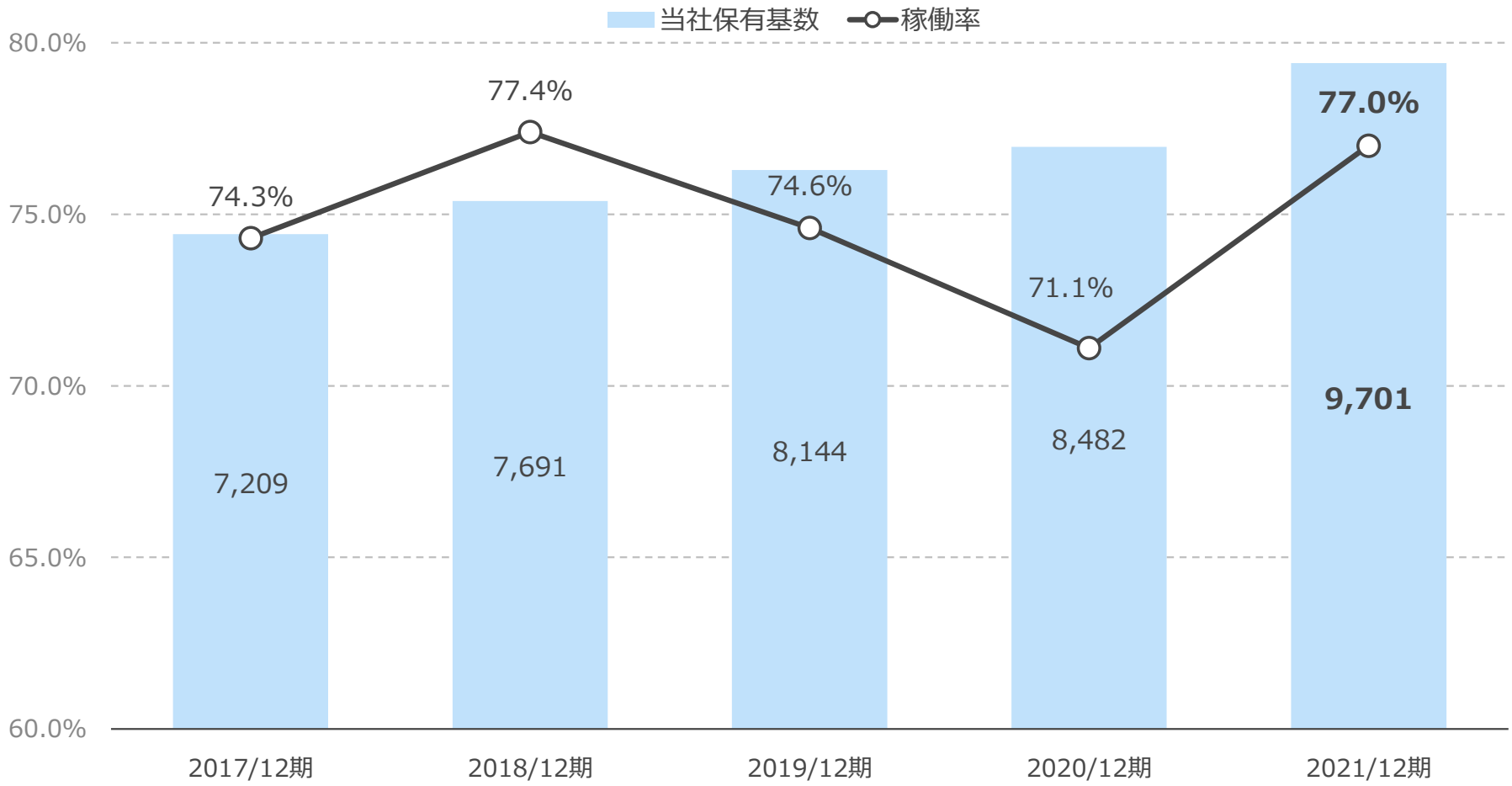
(出所)ITCO 2021 Global Tank Container Fleet Survey

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナ保有基数及び稼働率の推移

- 競争力強化に向けて保有基数の増強を図りつつ、空回送を極力回避し70%台の稼働率を維持。旺盛な需要により、2021/12期は期中平均で77.0%に上昇
- 効率的な輸送を展開しつつ、輸送量の増加を睨んで着実な積み増しを目指す



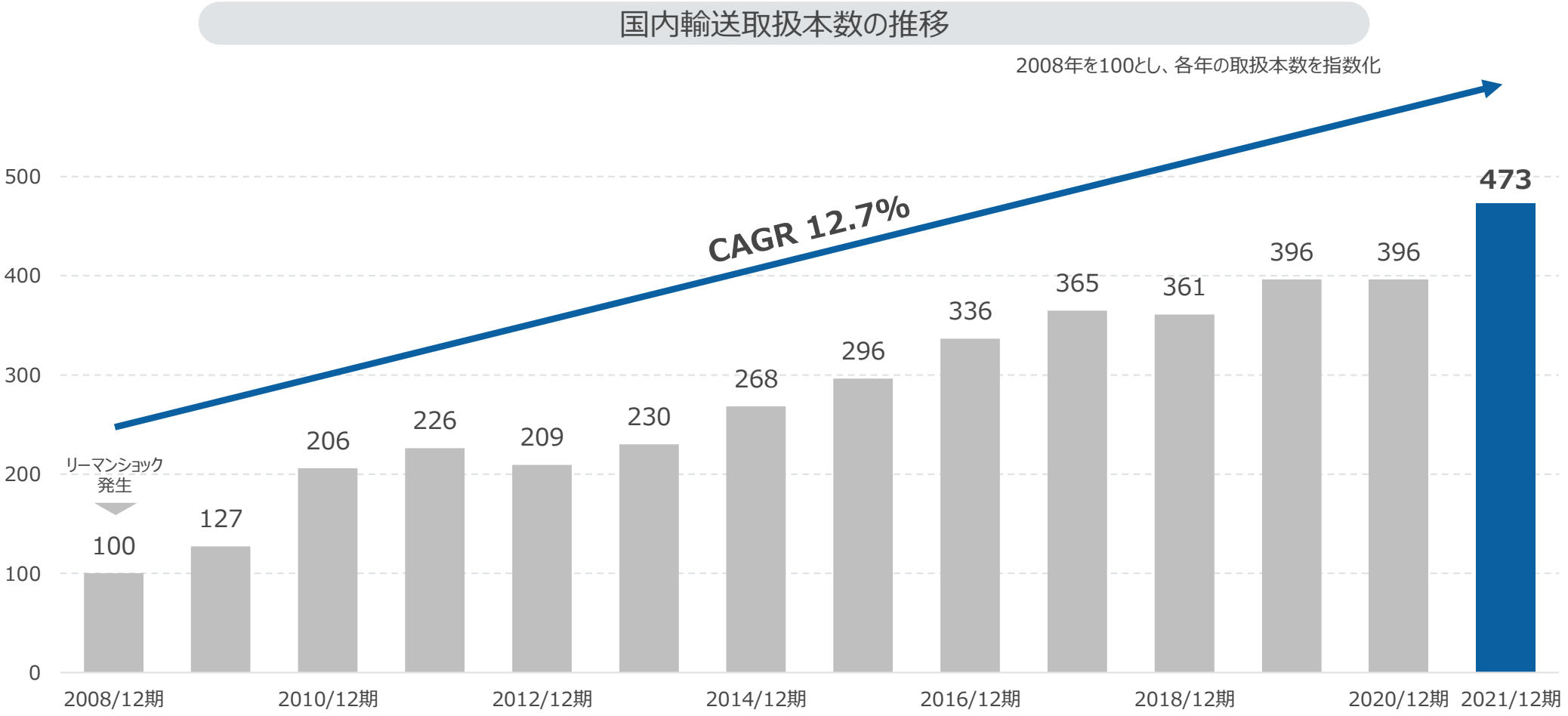
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

国内輸送取扱本数の推移

■ 高い洗浄技術とノウハウにより、*コンタミネーション発生ゼロ。独自の洗浄施設において徹底した洗浄とメンテナンスを実施。国内顧客の厳しい要求を満たす高い技術力により、国内輸送取扱本数は着実に増加。2021/12期は2008/12期比で4倍を突破

*コンタミネーション：異物混入（主に前荷の混入）

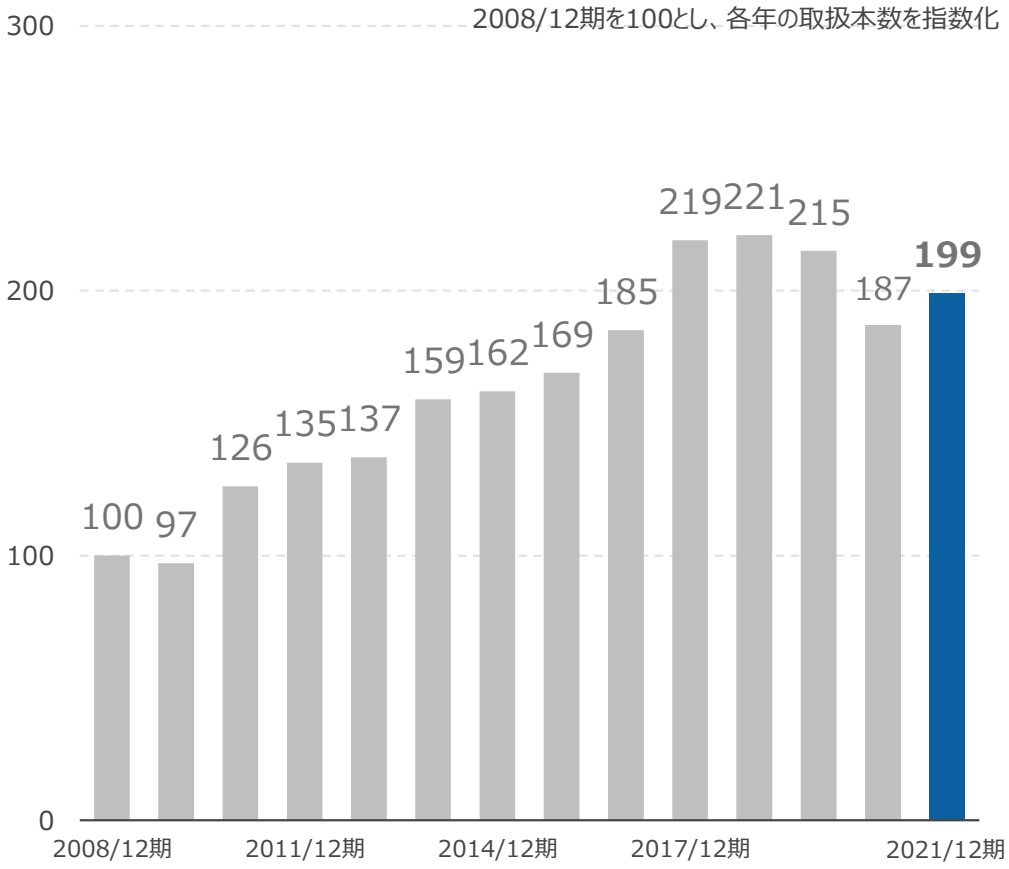


© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

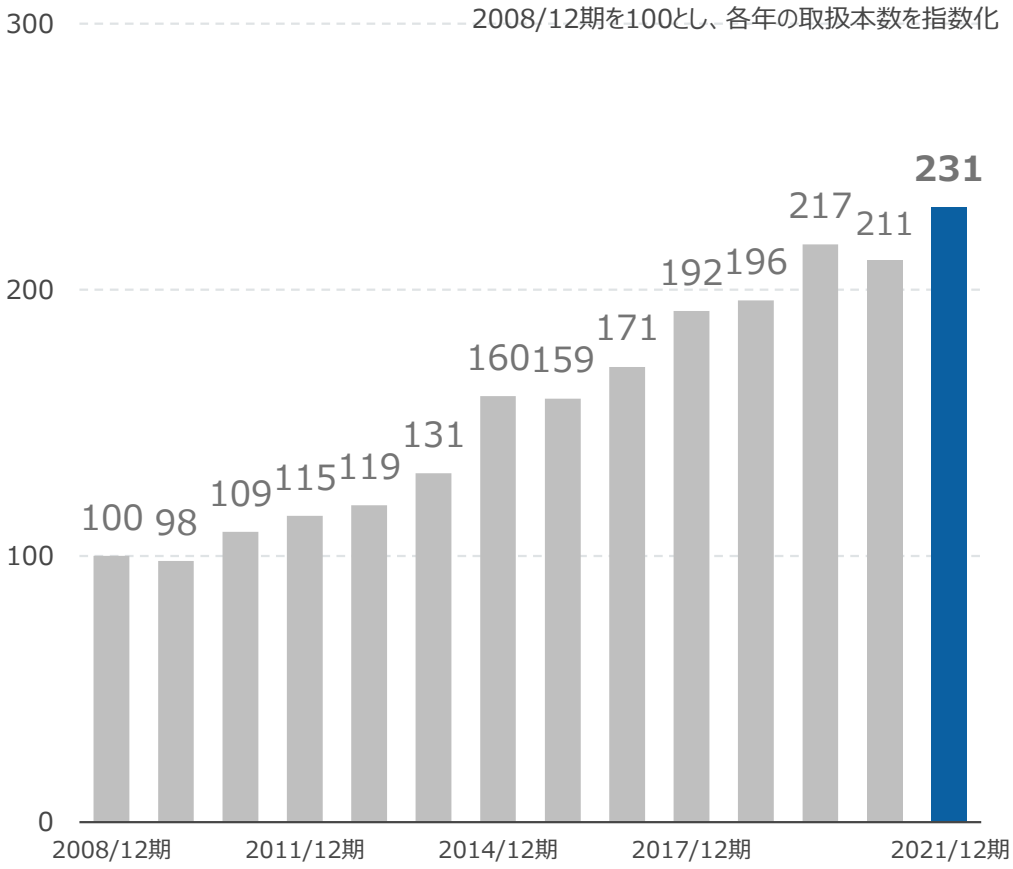
附帯サービスの状況

- 危険品も含めた様々な液体貨物の移し替えが当社拠点で可能であり、小ロット、複数回納入といった多岐に亘る顧客ニーズに柔軟に対応。これらの附帯サービスが評価され、取扱本数は年々増加傾向
- タンクローリーとの移し替え本数及び加温サービス取扱本数は、いずれも前年を上回るペースで推移

タンクローリーとの移し替え本数の推移



加温サービス取扱本数の推移



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

充実した国内ネットワーク

■ 今後も国内に営業拠点を新設予定。ネットワークを拡充することによりお客様との接点を増やし、肌理の細かい安全なサービスを提供できる体制を強化

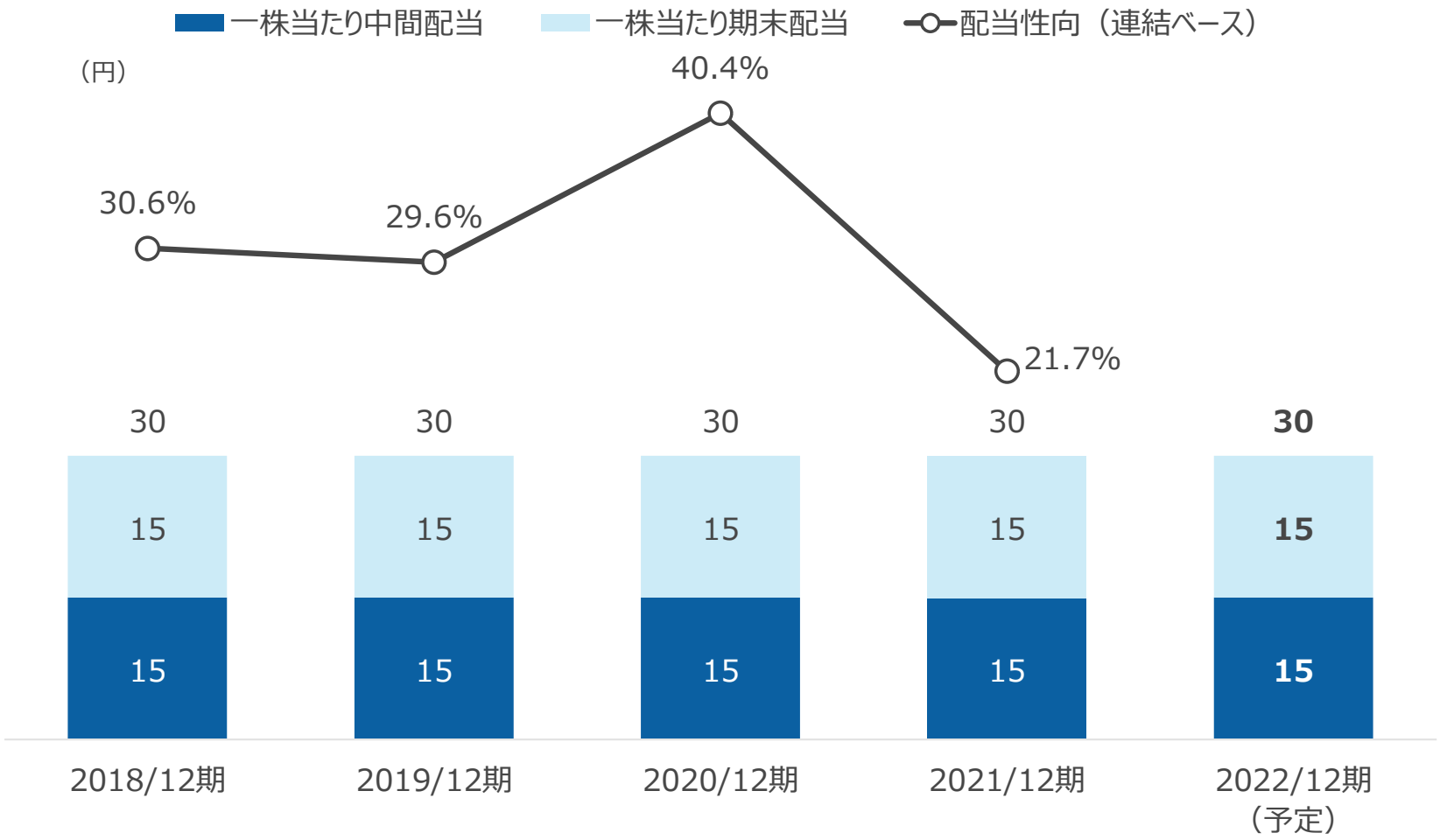


環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

株主還元

- 2021/12期の年間配当は、30円で据え置き（中間15円、期末15円）
- 2022/12期については、現時点では中間配当15円、期末配当15円を予定



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅳ

APPENDIX

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

各種項目一覧（1）

（百万円）	2017/12期	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期
売上高	11,705	12,165	12,704	12,277	17,000
売上総利益	3,248	3,398	3,513	2,906	4,348
営業利益	1,865	1,939	1,997	1,496	2,803
経常利益	1,772	1,914	1,995	1,450	2,720
親会社株主に帰属する当期純利益	1,245	1,346	1,405	1,029	1,919
売上総利益率	27.8%	27.9%	27.7%	23.7%	25.6%
営業利益率	15.9%	15.9%	15.7%	12.2%	16.5%
経常利益率	15.1%	15.7%	15.7%	11.8%	16.0%
保有基数（期末）	7.209基	7,691基	8,114基	8,482基	9,701基
稼働率（期中平均）	74.3%	77.4%	74.6%	71.1%	77.0%
為替（対US$）	112.1円	110.4円	109.3円	107.4円	108.5円
国内輸送等売上	2,021	2,262	2,811	3,148	3,743
ガスタンクコンテナ事業 売上高	22	236	408	497	665

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

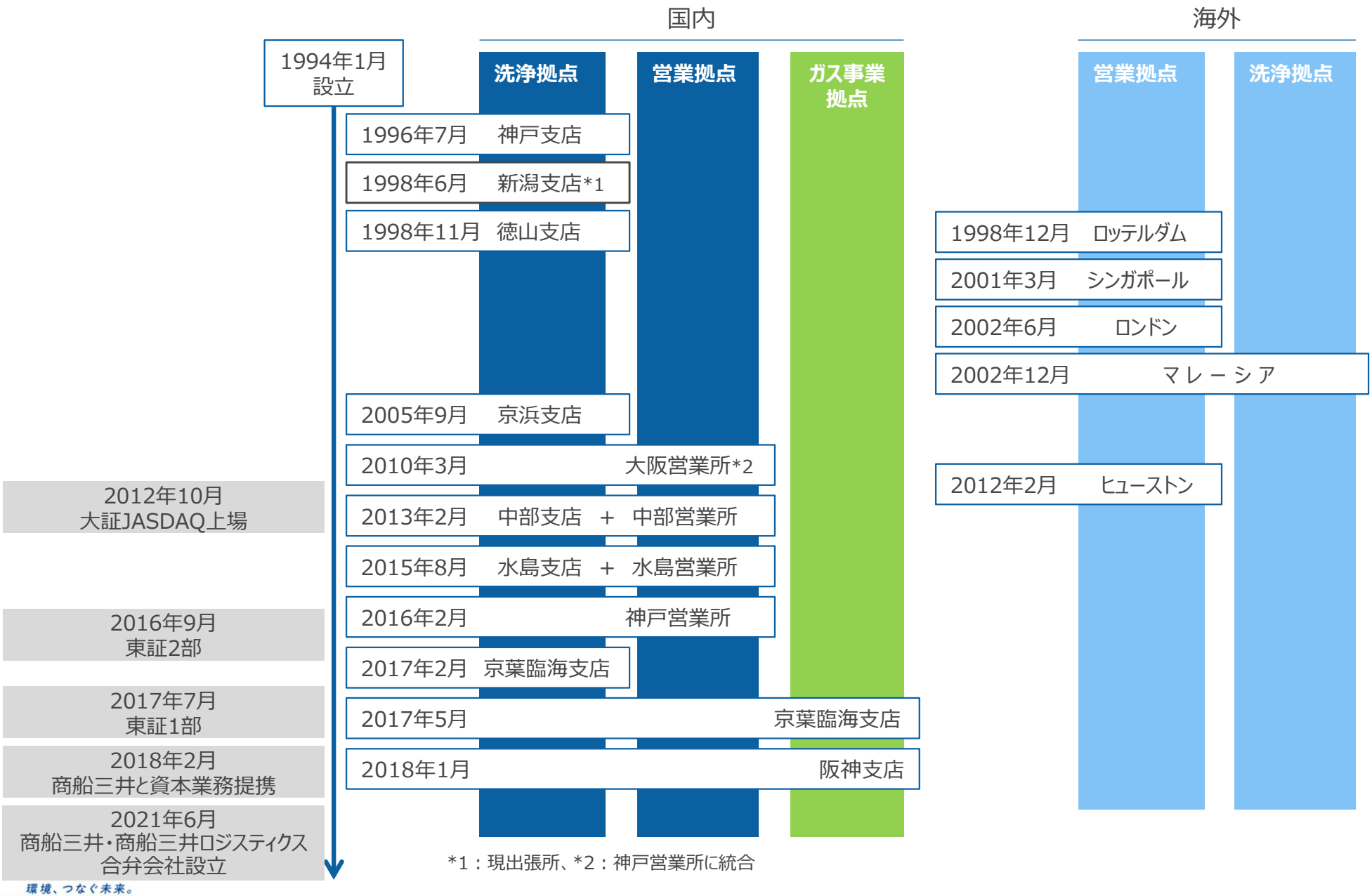
各種項目一覧（2）

（百万円）	2017/12期	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期
保有基数	7,209基	7,691基	8,114基	8,482基	9,701基
世界シェア	2.0%	2.0%	1.9%	1.9%	2.2%
一株当たり年間配当	30円	30円	30円	30円	30円
配当性向	31.6%	30.6%	29.6%	40.4%	21.7%
有利子負債	6,076	6,152	6,184	5,942	6,638
現預金	2,492	3,772	4,273	4,835	5,990
ネット有利子負債残高	3,584	2,379	1,910	1,107	647
自己資本	7,934	9,891	10,856	11,404	13,099
総資産	15,657	17,736	18,971	19,008	22,364
自己資本比率	50.7%	55.8%	57.2%	60.0%	58.6%
ネットD/Eレシオ	0.45倍	0.24倍	0.18倍	0.10倍	0.05倍
税引前当期純利益	1,767	1,912	1,996	1,451	2,701
支払利息	64	62	68	68	76
減価償却費	904	1,007	1,142	1,231	1,328
EBITDA	2,736	2,981	3,207	2,751	4,088

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

沿革



*1：現出張所、*2：神戸営業所に統合

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

会社概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月6日
所在地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル8階
代表取締役社長	松元　孝義
資本金	1,134,781,750円（2021年12月末時点）
上場市場	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100（株）
決算期	12月
子会社／関連会社	8社
従業員数	202名（連結：2021年12月末時点）



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

<お問い合わせ先>
広報部　IR担当
03-3507-8812
inquiry@n-concept.co.jp

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.